

プレスリリース 取材・報道依頼

石井 英俊

自由インド太平洋連盟（会長ラビア・カーディル）副会長

陳浩天氏（香港独立派リーダー）が2020年ノーベル平和賞候補としてノミネートされた件についての取材と報道依頼

1、陳浩天氏（香港独立派リーダー／元・香港民族党 召集人）が2020年ノーベル平和賞の候補者として正式にノミネートされました。ノルウェー・ノーベル委員会から通知を受け取りました。

2、上記の件について、2月6日（木）、衆議院第2議員会館において、下記の3名で記者会見を行ないました。

- ・石井 英俊（自由インド太平洋連盟 副会長）
- ・ランダムヨーコ（ジャーナリスト）
- ・ジェyson・モーガン博士（麗澤大学外国語学部 准教授）

石井英俊とランダムヨーコの2名は、陳浩天氏をノーベル平和賞に推薦するというこのプロジェクトの発案者・責任者であり、同氏を支援する日本の応援者の代表という立場です。また、ジェyson・モーガン博士は、ノルウェー・ノーベル委員会に推薦状を提出した正式な「推薦人」の1人です。ノーベル平和賞への推薦に当たっては、その「推薦人」となれる人物は、ノルウェー・ノーベル委員会により推薦資格が定められています。該当ホームページにその一覧があります。例えば、各国閣僚、各国国会議員、大学教授・准教授（歴史、法律、宗教、哲学など）等です。モーガン博士はその推薦資格を満たしており、「推薦人」として書類を提出しました。なぜ推薦したのかについては、添付の声明文をご参照ください。

【参考資料】

- ・記者会見の様子
※当日参加者による撮影・編集であり、主催者による動画ではありません。
記者会見動画 https://www.youtube.com/watch?v=cUHBifb3_sl
記者会見（質疑応答）動画 <https://www.youtube.com/watch?v=LeJRot7oRLM>
- ・ジェyson・モーガン博士の声明文 ※添付PDF
- ・陳浩天氏からのメッセージ文 ※添付PDF

3、2月26日、ノーベル平和賞を選考する委員会の事務局を担うノルウェーのノーベル研究所は、今年と同賞には210の個人、107の団体が推薦されたと発表しました。317という候補数は過去4番目の多さとのことです。ノーベル平和賞の候補者及び推薦人については、ノーベル委員会は50年間は非公開としています。公開されているものは全てノミネートした側の関係者による発表です。本年で言えば、環境活動家の「グレタ氏」のノミネートが話題となっているのもその一つです。また、毎年恒例の「憲法9条」も関係者による発表です。今年のノミネートの中で、香港をはじめ中国の人権問題に関係する分野について、現時点で私たちの把握している限りでは、他に「香港の民主化運動」というノミネートがありますが、個人としては「陳浩天氏」1人です。

4、受賞者発表は毎年10月であり、ノーベル平和賞はその時々の政治情勢にも影響されるため、受賞に至るかどうかは全く分かりませんが、陳浩天氏は既に「ノーベル平和賞候補者」となっている事実があるので、少なくとも次の2点についてははっきりしていると考えています。

①陳浩天氏の発言や行動は、全て、「ノーベル平和賞候補者」としてのものとなるため、候補者となる前と比較して、その与える影響は中国政府・香港行政府に対しても明らかに大きくなっていく。

②今年9月に香港立法会選挙が予定されており、いま現在は小康状態のデモ等も再び高まる可能性が高い。受賞者発表の直前の時期に当たり、香港への世界的注目が高まればそれだけ受賞の可能性も高くなる。

5、アメリカではすでに大きく報道され始めており、香港でも大きな話題となっています。

・Breitbart（ブライトバート・ニュース）2月18日

Nobel Peace Prize Nominee: The Only Way for Hong Kong Is Independence

<https://www.breitbart.com/asia/2020/02/18/exclusive-nobel-peace-prize-nominee-the-only-way-for-hong-kong-is-independence/>

※スティーブ・バノン氏（元・アメリカ大統領首席戦略官）が会長を務めていた保守系ニュースサイト

・World Tribune 2月16日

Hong Kong independence leader Andy Chan nominated for Nobel Peace Prize

https://www.worldtribune.com/hong-kong-independence-leader-andy-chan-nominated-for-nobel-peace-prize/?fbclid=IwAR2Q4rV1Ev26YMo3O83tHdoAhG2h8-ItJhtzK2pF2bMVml1eikl2ia_Wm34

上記World Tribune紙の記事中にもありますが、FOXニュースの著名なコメンテーターであり、『やがて中国の崩壊が始まる』で有名なゴードン・チャン氏や、同じくFOXニュースの著名なコメンテーターであるサラ・カーター氏なども、陳浩天氏のノミネートの事実とその影響について次々と発表しています。

・アメリカ最大の保守派団体ACUの年次総会である2020年CPAC（2月26日～29日）において、陳浩天氏の紹介ビデオが放映され、何度も言及されました。

・本土新聞 2月21日

獲提名諾貝爾和平獎 | 陳浩天：「香港唯一出路係獨立」

<http://www.localpresshk.com/2020/02/chan-ho-tin-nobel-nominated/>

6、中国による人権問題の関係で過去にノーベル平和賞を受賞しているのは、

①ダライ・ラマ14世（1989年）

②劉曉波（2010年）

の2人です。2人の受賞に対し中国政府は激しく反発し、対抗して孔子平和賞を創設したことも広く知られています。また、ウイグルの母と呼ばれるウイグル人の指導者であるラビア・カーディル氏がノーベル平和賞候補者として注目されたおりに、激しく反発しています。国内の人権問題に関する人物がノーベル平和賞にノミネートされることに対して、中国

政府が強く意識していることは明らかです。このことは非情な人権弾圧に対する抑止の意味合いを持つとも考えられます。

陳浩天氏が今年のノーベル平和賞の候補者としてノミネートされているという事実が広く認知されることは、自由と人権を求めている香港の若者たちに勇気を与えるものであると言えます。同時に、本件が黙殺されることは、中国政府による人権弾圧を看過するに等しいと言わざるを得ません。

【参考】陳浩天氏とは

陳浩天は、香港政府から最も政治的な弾圧を受けているにもかかわらず、自由と民主主義を訴えている青年である。陳浩天は自由を求める香港人の象徴である。

- 1、1990年、香港にて生まれる。現在29歳。香港理工大学卒業。香港在住。
- 2、2014年の雨傘運動（雨傘革命）には、いち参加者として加わる。
- 3、2016年、香港独立を主張する初めての政党である「香港民族党」を結成。召集人。
- 4、2016年9月の立法会選挙において、立候補の受付自体を拒否される第一号となる。
- 5、2018年9月、香港史上初めてとなる社団条例による活動禁止命令を受け、香港民族党を解散させられる。その後現在に至るまで、政党への活動禁止命令は陳浩天氏以外には受けていない。
- 6、2019年8月、爆発物所持容疑等で不当逮捕されるが、証拠が一切無く釈放される。
- 7、2019年8月、香港警察により2度目の逮捕をされる。現在保釈中。
- 8、2019年9月、裁判所への出頭を待ち伏せされ、暴行を受ける。
- 9、2020年1月、2020年ノーベル平和賞候補としてノミネートされ、ノルウェー・ノーベル委員会に正式に受理される。

【お問い合わせ先】

石井 英俊（自由インド太平洋連盟 副会長）

TEL : 090-8913-8871 Email : npodga@gmail.com